

地域支えあうまちづくり懇談会 アンケート結果

【2018.8.21（火）菩提寺まちづくりセンター】

問1 ご参加いただいたあなたの役職は。

① 区・まちづくり協議会	11人
② 民生委員児童委員	6人
③ 健康推進員	—
④ 各種団体役員	—
⑤ 市民	—
⑥ 市内事業所	2人
⑦ その他	—
計	19人

問2 懇談会に参加しての感想や今後、地域で支えあうまちづくりを推進していくうえで必要なことをお書きください。

- ・初めての参加でしたが、有意義な会でした。
  - ・この会議の趣旨がいまだ不明です。
  - ・できる人ができる範囲でというボランティアの精神を尊重したい。
  - ・大変役に立つ話し合いでした。ただ希望としては、この話し合いの結果を行政の計画に確実につなげるような仕組みができれば、この懇談会も有益なものになると思います。
  - ・どれをとっても資源と人材。自治会などのなり手の育成、ボランティアをするには、ワーキング世代には難しい。自腹をきって参加しているのが現状です。
  - ・参加者が高齢者ばかりだったので、できれば若い人も参加できる日時や案内を出してほしい。もしくは、若い人を対象に開催してほしい。
  - ・このような取り組みや懇談会をいかに底辺まで広げて（周知・参加・参画）と関心ももてる仕組みができるとよい。
  - ・区、民生委員児童委員、各種団体の役員さんと話し合いができて、良い意見の場になった。また、認知症の問題では、ならない方法や食生活の改善等をアピールしてほしい。
  - ・ほかの自治体が行っている情報等が聞け、参考にさせてもらえるように、いろいろな発表の中で、実行してもらえることを願います。
  - ・いろいろな世代が集まって話し合うことで、いろいろな意見が出てくるのではないかな。
  - ・民生委員児童委員の活動の一端を知ることができました。活動の重複を整理することで効率的かつ高レベルの活動が展開できると思います。
- 例) 子どもの見守りネットワーク（青パト・みまもり隊・青少年育成委員会）
- ・前回も今回も話が出ていたようですが、この集まりが何のために、どこへ向かっている

のかが明確にされての話し合いでないと単なる井戸端会議で終わってしまい、それでよいのかな？と思います。(井戸端会議がすべて悪いとは思っていませんが)

- ・今日の「あったらいいな」の一項目だけでも一歩ずつ前進しましたよとなることを願います。
- ・地域とのつながりを持つために交流をすすめています、限られた人だけが参加するということで広がるための広報活動が必要。
- ・地域共生社会とは、どういう社会や福祉をめざすのか、何をするのか方向性を教えてほしい。
- ・生活支援についてはシルバー人材センターに協力をお願いすればよい。登録者が400名おられる。ワンコイン500円/1時間で作業を引き受ける。
- ・毎回、大事な話し合いができたと思うが、メンバーがいつも同じでは広がらない。
- ・地域で支えあうまちづくりがテーマなら、拡がりを真剣に考えなければならないと思う。
- ・防災訓練を地域ぐるみで考えていく過程の中で、助け合い活動として展開できるのか？救助という目的なら個人情報公開の問題も理解が得られるのではないかな？
- ・数か所の地区に参加させていただきましたが、地域差があると感じました。懇談会を実施する前に参加者になぜ行うのか、どのようなことを行うのか説明し、理解してもらったほうがよかったと思います。また、高齢者や認知症支援など、市が実際行っていることを知らなかった人が多いと実感しました。